

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(6/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアヘッドクォーター特区(東京都)	3.6	4.9 進捗度 ・外国企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 100% ・外国企業と都内企業との引き合わせ件数 111% ・金融系外国企業の誘致数 143% 等	2.4 規制の特例等 ・ビジネスジェットの使用手続簡略化 等 地域独自の取組 ・アジアヘッドクォーター特区拠点設立補助金 ・ビジネスコンシェルジュ事業等	3.5	<p>・順調に数値目標を達成したことは評価できるが、東京都の実力からすると、目標設定が少し甘いのではないか。</p> <p>・特区としての取組が見えないため、特区事業による直接的なアウトプットをはかる評価指標や数値目標を設定することが望ましい。</p> <p>・上海、香港、シンガポール等の競争相手と比べて、活動実績に見劣りする部分はないか。</p> <p>・規制の特例措置、財政・税制・金融支援及び地域独自の取組の関与が、外国企業の誘致等の成果にどのようにつながったのか説明することが必要。</p>